

焼却灰等の放射能濃度測定結果

表1 主灰の放射能濃度測定結果

測定機関
測定方法株式会社分析センター
緊急時における食品の放射能測定マニュアル
(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

単位:Bq/kg

施設名	試料 採取日	主灰又は流動床不燃物			
		放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
中央清掃工場	(11月下旬 採取予定)				
港清掃工場	10月28日	不検出	50	60	110
北清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
品川清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
目黒清掃工場	(11月下旬 採取予定)				
大田清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
多摩川清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
世田谷清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
千歳清掃工場	10月27日	不検出	39	53	92
渋谷清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
杉並清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
豊島清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
板橋清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
光が丘清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
墨田清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
新江東清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
有明清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
足立清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
葛飾清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
江戸川清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
中防灰溶融施設 ※3					
破碎ごみ処理施設 ※2	—	—	—	—	—

※1 使用測定器:セイコー・イージーアンドジー社製 ゲルマニウム半導体検出器 SEG-EMS

※2 「—」の工場は、定期補修工事等により測定していません。

※3 主灰が発生しない溶融処理施設であるため、測定していません。

※4 「不検出」とは、検出下限値未満を表します。

(平成23年11月14日 HP掲載)

表2 飛灰の放射能濃度測定結果

測定機関
測定方法株式会社分析センター
緊急時における食品の放射能測定マニュアル
(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

単位: Bq/kg

施設名	試料 採取日	飛灰			
		放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
中央清掃工場	10月25日	不検出	580	623	1,203
港清掃工場	10月28日	不検出	842	1,070	1,912
北清掃工場	10月26日	不検出	658	746	1,404
品川清掃工場	10月28日	不検出	298	422	720
目黒清掃工場	10月24日	不検出	1,390	1,680	3,070
大田清掃工場	10月28日	不検出	1,730	2,050	3,780
多摩川清掃工場	10月28日	不検出	689	803	1,492
世田谷清掃工場	10月27日	不検出	1,290	1,540	2,830
千歳清掃工場	10月27日	不検出	755	961	1,716
渋谷清掃工場	10月24日	不検出	289	388	677
杉並清掃工場	10月27日	不検出	1,090	1,300	2,390
豊島清掃工場	10月26日	不検出	386	439	825
板橋清掃工場	10月27日	不検出	687	802	1,489
光が丘清掃工場	10月27日	不検出	1,140	1,310	2,450
墨田清掃工場	10月26日	不検出	1,040	1,220	2,260
新江東清掃工場	10月25日	不検出	803	1,030	1,833
有明清掃工場	10月25日	不検出	1,610	1,900	3,510
足立清掃工場	10月26日	不検出	1,170	1,400	2,570
葛飾清掃工場 ※2	—	—	—	—	—
江戸川清掃工場	10月28日	不検出	3,520	4,220	7,740
中防灰溶融施設 ※3					
破碎ごみ処理施設 ※2	—	—	—	—	—

※1 使用測定器: セイコー・イージーアンドジー社製 ゲルマニウム半導体検出器 SEG-EMS

※2 「—」の工場は、定期補修工事等により測定していません。

※3 飛灰が発生しない溶融処理施設であるため、測定していません。

※4 「不検出」とは、検出下限値未満を表します。

※5 放射性物質を含む焼却灰及び飛灰の埋立てについては、6月28日付けの環境省からの通知により8,000Bq/kgを基準に管理することとなっています。その後、7月2日付けの環境省からの追加説明により、飛灰についての基準は、今後は実際に埋め立てられる飛灰処理汚泥(飛灰を薬剤処理したもの)に対して適用されることとなりました。また、飛灰については、参考のため測定を行います。

(平成23年11月14日 HP掲載)

表3 飛灰処理汚泥の放射能濃度測定結果

測定機関
測定方法株式会社分析センター
緊急時における食品の放射能測定マニュアル
(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

単位: Bq/kg

施設名	試料 採取日	飛灰処理汚泥			
		放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
中央清掃工場	10月25日	不検出	339	467	806
港清掃工場	10月28日	不検出	707	843	1,550
北清掃工場 ※3					
品川清掃工場	10月28日	不検出	230	284	514
目黒清掃工場 ※3					
大田清掃工場	10月28日	不検出	990	1,260	2,250
多摩川清掃工場	10月28日	不検出	437	532	969
世田谷清掃工場	10月27日	不検出	862	1,080	1,942
千歳清掃工場 ※3					
渋谷清掃工場 ※3					
杉並清掃工場	10月27日	不検出	863	1,100	1,963
豊島清掃工場	10月26日	不検出	258	341	599
板橋清掃工場	10月27日	不検出	557	755	1,312
光が丘清掃工場	10月27日	不検出	714	889	1,603
墨田清掃工場 ※3					
新江東清掃工場	10月25日	不検出	666	787	1,453
有明清掃工場	10月25日	不検出	775	890	1,665
足立清掃工場	10月26日	不検出	859	1,060	1,919
葛飾清掃工場 ※2	—	—	—	—	—
江戸川清掃工場	10月28日	不検出	2,600	3,210	5,810
中防灰溶解施設 ※4	10月24日	不検出	763	945	1,708
破碎ごみ処理施設 ※2	—	—	—	—	—

※1 使用測定器:セイコー・イージーアンドジー社製 ゲルマニウム半導体検出器 SEG-EMS

※2 「—」の工場は、定期補修工事等により測定していません。

※3 他工場で飛灰の処理を行っているため測定していません。

※4 他工場の飛灰を受入れて薬剤処理したものの値です。

※5 「不検出」とは、検出下限値未満を表します。

※6 放射性物質を含む焼却灰及び飛灰の埋立てについては、6月28日付けの環境省からの通知により8,000Bq/kgを基準に管理することとなっています。その後、7月2日付けの環境省からの追加説明により、飛灰についての基準は、今後は実際に埋め立てられる飛灰処理汚泥(飛灰を薬剤処理したもの)に対して適用されることとなりました。また、飛灰については、参考のため測定を行います。

(平成23年11月14日 HP掲載)

表4 溶融飛灰、溶融飛灰処理汚泥及びスラグの放射能濃度測定結果

測定機関

株式会社分析センター

測定方法

緊急時における食品の放射能測定マニュアル

(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

単位: Bq/kg

施設名	試料 採取日	溶融飛灰			
		放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
品川清掃工場	10月24日	不検出	1,760	2,220	3,980
多摩川清掃工場 ※2	—	—	—	—	—
世田谷清掃工場	10月27日	不検出	876	1,110	1,986
板橋清掃工場	10月21日	不検出	2,350	2,860	5,210
足立清掃工場 ※2	—	—	—	—	—
葛飾清掃工場 ※2	—	—	—	—	—
中防灰溶融施設	10月24日	不検出	2,180	2,680	4,860

施設名		溶融飛灰処理汚泥			
		放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
品川清掃工場	10月24日	不検出	853	1,110	1,963
多摩川清掃工場 ※2	—	—	—	—	—
世田谷清掃工場	10月27日	不検出	651	812	1,463
板橋清掃工場	10月21日	不検出	1,540	1,860	3,400
足立清掃工場 ※2	—	—	—	—	—
葛飾清掃工場 ※2	—	—	—	—	—
中防灰溶融施設	10月24日	不検出	1,280	1,530	2,810

施設名		スラグ			
		放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
品川清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
多摩川清掃工場 ※2	—	—	—	—	—
世田谷清掃工場(溶融)	(11月上旬採取)	(分析中)			
世田谷清掃工場(ガス化)	(11月上旬採取)	(分析中)			
板橋清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
足立清掃工場 ※2	—	—	—	—	—
葛飾清掃工場 ※2	—	—	—	—	—
中防灰溶融施設	(11月上旬採取)	(分析中)			

※1 使用測定器: セイコー・イージーアンドジー社製 ゲルマニウム半導体検出器 SEG-EMS

※2 「—」の工場は、定期補修工事等により測定していません。

※3 「不検出」とは、検出下限値未満を表します。

※4 放射性物質を含む焼却灰及び飛灰の埋立てについては、6月28日付けの環境省からの通知により8,000Bq/kgを基準に管理することとなっています。その後、7月2日付けの環境省からの追加説明により、飛灰についての基準は、今後は実際に埋め立てられる飛灰処理汚泥(飛灰を薬剤処理したもの)に対して適用されます。溶融飛灰処理汚泥についても飛灰処理汚泥と同様に取り扱います。また、溶融飛灰については、参考のため測定を行います。

※5 現在製造しているスラグは、一般には提供していません。また、現在、一般に提供しているものは、平成23年3月11日以前に製造したものです。

(平成23年11月14日 HP掲載)

表5 汚水処理汚泥の放射能濃度測定結果

測定機関
測定方法株式会社分析センター
緊急時における食品の放射能測定マニュアル
(平成14年3月、厚生労働省医薬局食品保健部監視安全課)

単位: Bq/kg

施設名	試料 採取日	汚水処理汚泥			
		放射性 ヨウ素131	放射性 セシウム134	放射性 セシウム137	放射性 セシウム合計
中央清掃工場	(11月下旬採取予定)				
港清掃工場	10月28日	不検出	13	20	33
北清掃工場	(11月下旬採取予定)				
品川清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
目黒清掃工場	(11月下旬採取予定)				
大田清掃工場	10月28日	不検出	不検出	不検出	不検出
多摩川清掃工場	10月24日	不検出	12	13	25
世田谷清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
千歳清掃工場	10月27日	不検出	不検出	14	14
渋谷清掃工場 ※2					
杉並清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
豊島清掃工場 ※2					
板橋清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
光が丘清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
墨田清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
新江東清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
有明清掃工場	(11月下旬採取予定)				
足立清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
葛飾清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
江戸川清掃工場	(11月上旬採取)	(分析中)			
中防灰溶融施設	(11月上旬採取)	(分析中)			
破碎ごみ処理施設 ※2					

※1 使用測定器: セイコー・イージーアンドジー社製 ゲルマニウム半導体検出器 SEG-EMS

※2 汚水処理汚泥を工場内で処理して埋立てを行わないため、測定していません。

※3 「不検出」とは、検出下限値未滿を表します。

※4 放射性物質を含む焼却灰及び飛灰の埋立てについては、6月28日付けの環境省からの通知により8,000Bq/kgを基準に管理することとなっています。

当組合では、この通知で言及されていない汚水処理汚泥についても、焼却灰及び飛灰と同じ取扱いをいたします。